

責任投資の取組みを通じて、持続可能な社会の実現への貢献と、長期安定的な収益確保の両立を目指します。

責任投資レポート2026のポイント

建設的な対話の実施

「人権・人的資本・ダイバーシティ」に関する情報開示の充実や取組みの実効性向上に向けた建設的な対話を実施

脱炭素社会に向けた対応の強化

GHG多排出企業との対話強化や、トランジションファイナンス推進に向けた当社ローンフレームワークの改定

脱炭素社会

人権・
人的資本・
ダイバーシティ

責任投資の
注力分野

生物
多様性

2026年～

地域社会の
持続的成長

自然資本リスク分析の充実化

投融資先の自然環境への影響や事業上のリスクを詳細に分析し、その結果を企業との対話に活用

当社ならではの投融資テーマの追加

注力分野に「地域社会の持続的成長」を追加し、取組方針および対話のポイントを策定(2026年度から取組開始)



責任投資とは...

環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)などのサステナビリティ課題を考慮した投融資に加え、投融資先企業との建設的な対話等を通じて、持続可能な社会の実現と投融資先の中長期的な企業価値向上を目指す投資アプローチ

責任投資の取組概況

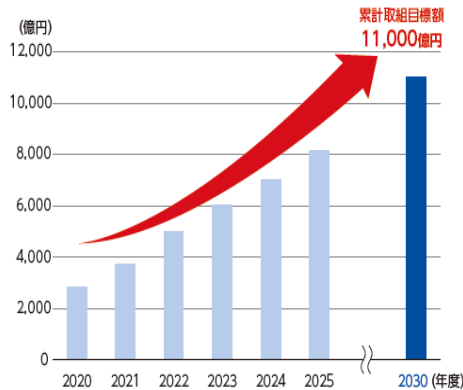


サステナブル投融資 (サステナビリティ課題の解決に向けた投融資)

スチュワードシップ活動 (投融資先との対話や議決権行使)

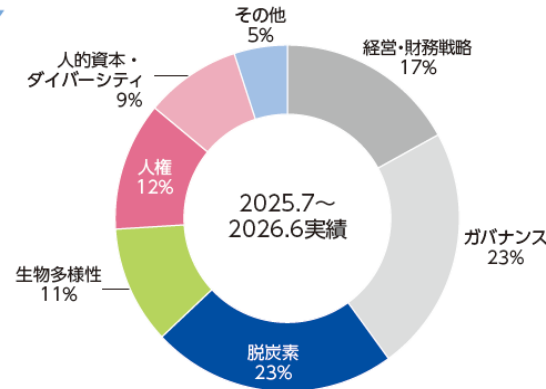


サステナビリティ・テーマ型投融資の 累計取組額推移



■ 2025年度の累計取組額は**8,127**億円となり、2030年度の目標「11,000億円」に向け、着実に進展。

対話テーマ



■ 投融資先**63**社（対話件数計**193**件）と対話を実施。

■ 上場企業**26**社の計**95**議案に対して議決権行使を実施。

サステナブル投融資等を通じて 環境・社会面に与えるポジティブインパクトを創出

脱炭素への貢献

G H G 排出削減の貢献量

140.4 万トン／年

自動車約**30**万台分の排気量に相当

生物多様性保全

削減・回避された水使用量

約**1.6** 億L／年

25mプール**320**杯分に相当

人権・人的資本・ダイバーシティ等

医療サービスを受けた人数

26.7 万人／年

老人介護施設の入居室数

204 室／年

投資先企業への働きかけ（対話等）により 投融資先のG H G 排出量削減を推進

実績

2025年度

▲**49.9%**※

中間目標

2030年度

▲**50.0%**※

最終目標

2050年度

ネットゼロ

※2020年度比、インテンシティ（G H G 排出量を資産ポートフォリオ残高で除した指標）ベース